

特別企画展

# 書物の 在る処

中也詩集とブックデザイン



2021  
7.29 THU → 9.26 SUN

開館時間◎午前9:00-18:00(入館は17:30まで)  
休館日◎毎週月曜日(ただし8月9日、9月20日は開館)、8月31日(火)、9月21日(火)  
入場料◎一般330円(275円) 大学・高等専門学校(学生)220円(165円)  
18歳以下・70歳以上は無料[要証明書] ( )内は20人以上団体料金  
監修:カニエ・ナハ(詩人、ブックデザイナー)  
主催:公益財団法人山口市文化振興財団

中原中也記念館  
Nakahara Chūya Memorial Museum

BOOK DESIGN

特別コーナー

## 中也の詩集をいま作るなら……

昭和初期に出版された中原中也の2冊の詩集『山羊の歌』と『在りし日の歌』。これらが現代に出版されるなら、どのような装幀の詩集になるでしょうか?  
現代に生きる装幀家、詩人、アーティストが中也の詩の世界を新たな視点で捉え、今なお色あせることのないその魅力を、「詩集」という形によって表現します。

【参加メンバー】

岡本啓(詩人)、カニエ・ナハ(詩人、ブックデザイナー)、佐野裕哉(グラフィックデザイナー)、ゾエ・シェレンバウム(アーティスト)、鈴木啓二郎(アーティスト)、秦博志(資料修復家)

[50音順、敬称略]

会場: 中原中也記念館

## EVENT 関連イベント情報

オンライン座談会

中也詩集を装幀して

8月7日(土) 13:30→15:30(予定)

「中也の詩集をいま作るなら……」の参加メンバーが、中也の詩集を装幀してみて感じたことや制作の裏話、ブックデザインについて思うことなどを語り合います。

出演: カニエ・ナハ、岡本啓、ゾエ・シェレンバウム、鈴木啓二郎

Zoomを利用してオンラインで開催します。

オンラインワークショップ  
青山二郎の装幀術に  
まなんでみる

8月22日(日) 13:30→15:30(予定)

『在りし日の歌』を装幀した青山二郎は、大胆かつ繊細な手書き文字、色彩豊かな額縁文様、愛らしいハンコを使ったパターンなど、独特な手法を用いて多くの本を手がけました。その技法をひもとき、「青山装幀術」をまなびながら、あなただけの表紙デザイン案をつくってみます。

講師: カニエ・ナハ

定員: 15名程度

対象年齢: 小学生以上(低学年は保護者等にサポートいただくと好ましい)

参加方法: Zoomを利用してオンラインで開催します。事前に教材のデータのダウンロード&プリントアウトをお願いします。当日は、お手元にハサミ、糊、ペン(筆ペン)等をご用意ください。

※お申し込み、Zoomへの登録方法等の詳細については当館ウェブサイトをご覧ください。



ワイカムシネマ連携  
本をめぐる映画特集

9月8日(水)→20日(月・祝)

「つつんで、ひらいて」(2019年/監督: 広瀬奈々子)  
「ブックセラーズ」(2019年/監督: D・W・ヤング)  
「まちの本屋」(2020年/監督: 大小田直貴) ほか  
会場: 山口情報芸術センター[YCAM]スタジオC  
※詳細はYCAMウェブサイトをご覧ください。



山口ゆめ回廊博覧会イベント

ゆめ散歩

中原中也記念館・

学芸員と巡る湯田温泉ツアー

9月18日(土) 13:30→15:15

中原中也記念館の展示や中也ゆかりの地を学芸員のガイドで散策します。

「狐の足あと」の足湯+カフェで休息も。

参加料金: 1,900円(記念館入館料、狐の足あと足湯利用料・カフェクーポン付)

定員: 5名程度

※お申し込み、スケジュール等の詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。



文学ラリー

種田山頭火・中原中也・森鷗外の故郷を巡る、シールラリー。

参加でノベルティも!



山口ゆめ回廊博覧会

ご来館の際は、マスク着用・手指消毒等、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。



中原中也記念館  
Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21  
Tel.083-932-6430 Fax.083-932-6431  
URL:https://www.chuyakan.jp/

# 書物の 在る処

## 中也詩集とブックデザイン

詩集には美しくデザインされた本が数多くあります。詩人たちは詩集を通じて自らの作品世界を表現するた  
めに、装幀にさまざまな工夫を凝らしてきました。

中原中也の詩集『山羊の歌』『在りし日の歌』、三冊のランボー翻訳詩集もまた、高村光太郎、青山二郎、秋朱之介らといった、個性豊かな装幀家、出版人の手によってかたちづくられました。それらの佇まいには、中也と装幀家それぞれの思いが映し出されています。

本展では、中也と装幀家たちとの関わりや彼らの美意識、そして大正から昭和初期にかけて出版された詩集のブックデザインを紹介します。

## 『在りし日の歌』●青山二郎

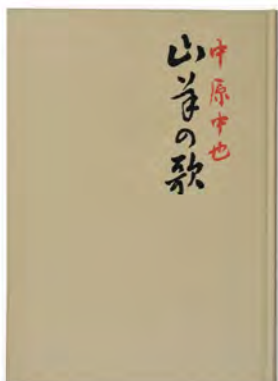
勿論あれは  
僕の装幀の傑作だった

—青山二郎「私の接した中原中也」より



## 『山羊の歌』●高村光太郎

# 中原中也 山羊の歌



「高村さんのような字が好きなんだ、あれはいい字だよ」と中也はしきりに強調した

—野々上慶「『山羊の歌』のこと」より

## 『ランボオ詩抄』



## 『ランボオ詩集』



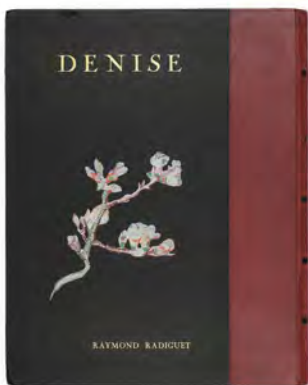
- 5 中原中也『在りし日の歌』(函・本体) 昭和13年、創元社、装幀・青山二郎
- 6 中村光夫『中村光夫評論集 二葉亭四迷論 他二篇』(表紙) 昭和11年、芝書店、装幀・青山二郎
- 7 小林秀雄『無常といふ事』(表紙) 昭和24年、創元社、装幀・青山二郎
- 8 青山二郎の装幀原画 [個人蔵]
- 9 アルチュール・ランボー/中原中也訳『ランボオ詩抄』(表紙) 昭和11年、山本書店
- 10 アルチュール・ランボー/中原中也訳『ランボオ詩集』(表紙) 昭和12年、野田書房

## 『ランボオ詩集』《学校時代の詩》

### ●秋朱之介

真の出版家は芸術家、特に詩人または美術家でなければならない。

—秋朱之介「ル・ポールの書棚」より



- 1 中原中也『山羊の歌』(表紙) 昭和9年、文園堂書店、装幀・高村光太郎
- 2 『山羊の歌』(本文頁)
- 3 アルチュール・ランボー/中原中也訳『ランボオ詩集』《学校時代の詩》特製本(函・本体) 昭和8年、三笠書房、装幀・秋朱之介
- 4 レイモン・ラディゲ/堀口大学訳『ドニイズ』(表紙) 昭和8年、日本限定版倶楽部、装幀・秋朱之介

## Beautiful book designs 近代の美しい詩集たちも登場!



- 11 北原白秋『思ひ出』(表紙) 明治44年、東雲堂書店、著者自装 [前橋文学館蔵]
- 12 萩原恭次郎『死刑宣告』(表紙) 大正14年、長隆舎書店、装幀・岡田龍夫 [前橋文学館蔵]
- 13 萩原朔太郎『月に吠える』(本体) 大正6年、感情詩社・白日社、装幀・恩地孝四郎、挿画・田中恭吉 [個人蔵]
- 14 佐藤春夫『殉情詩集』(本体) 大正10年、新潮社、著者自装
- 15 堀口大学『月下の一群』(背表紙) 大正14年、第一書房、扉絵・長谷川潔